

2. 申請条件（いずれかを満たすこと）

- （1）本科目の履修に関して了解が得られた自治会・町内会などの地縁団体あるいは外部機関で活動すること。
- （2）本学の定める機関、または活動の証明が可能な外部機関等で活動すること。

3. 単位認定方法

- ・自由選択科目と位置づけ、卒業要件単位として認める。
- ・履修登録上限の枠外として扱う。
- ・各科目 1 回のみの認定とし、複数回の認定は行わない。
- ・コミュニティサービスラーニングⅡの履修者及び単位修得者は履修できない。
- ・下記の「地域活動実習における単位認定表」に基づき認定する。
- ・履修期間は複数学期にまたがることを妨げない。
- ・春学期は 6 月 15 日、秋学期は 12 月 15 日までに報告書等の提出がなされた活動のみ、当該学期の単位認定の対象とし、以後の期間にかかる活動は次学期の単位認定とする。

地域活動実習における単位認定表

認定科目名	単位数	対象学年	単位認定基準	評価方法	成績評価	備考
地域活動実習 A	4	1～	120時間以上 (事前事後指導含)	活動記録及び 報告書に基づ いて評価する。	N（認定）	全学科対象 自由選択科目 複数履修不可 (各科目 1 回)
地域活動実習 B	2	1～	60～120時間未満 (事前事後指導含)			
地域活動実習 C	1	1～	30～60時間未満 (事前事後指導含)			

4. 申請から報告書等提出までの流れ

- ① 地域連携・教育センターへ申し出て、「申請書」「活動記録」「活動証明書」の用紙を受け取る。
- ② 原則、活動開始の 2 週間前までに、「申請書」を地域連携・教育センターに提出する。必要に応じて、「活動機関に関する資料」も提出する。（地域連携・教育センター運営委員会において、申請を承認する。）
- ③ 活動開始前に、所属学科の地域連携・教育センター運営委員の教員から事前指導を受ける。
- ④ 地域活動を行う。
- ⑤ 活動終了後、原則として 1 週間以内に③の教員から事後指導を受ける。
- ⑥ その後、1 週間以内に、「活動記録」「活動証明書」「報告書」を③の教員に提出する。

(7) 放送大学との単位互換について

本学は、放送大学との単位互換に関する協定を締結している。本学の学生は「特別聴講学生」として放送大学の授業を受講することができる。放送大学の授業を受講し、単位認定条件を満たした場合、単位認定され、卒業要件単位（自由選択科目）として算入される。

1 履修期間：1 学期間（6 ヶ月）

2 対象科目：放送大学授業科目

- ・単位認定できる授業科目については、教育支援課に問い合わせること。
- ・1 学期に出願できる科目数は、2 科目 4 単位とする。ただし、**放送大学授業科目の単位認定試験日が同一日時の科目は 1 科目しか登録できない。**
- ・放送大学との協定上、出願後の科目の変更・取消・追加はできない。
- ・放送大学授業科目は、**履修上限単位数に含まれない。**

3 出願方法について

- ・放送大学特別聴講生を希望する者は、指定期間に教育支援課に願い出ること。
- ・卒業が見込まれる学期に出願をすることはできない。

- ・授業料は1科目（2単位）あたり12,000円（入学金無料）

4 視聴方法

以下のいずれかの方法で、視聴することが可能

- ・放送大学埼玉学習センターにおける視聴
- ・自宅でのBS放送、CATV（ケーブルテレビ）、インターネット配信

5 単位認定について

- ・各学期末に単位認定試験が実施される。
- ・放送大学授業科目の単位認定試験日と本学開講科目の期末試験日が重なった場合は、本学開講科目について追試験を願い出ることができる。
- ・単位認定試験が不合格や未受験の場合、再試験が次学期に1回のみ認められている。再試験の場合、授業料の納入および出願手続きは不要である。ただし、再試験の際には特別聴講学生の学生証が必要になるので、大切に保管すること。
- ・単位認定試験終了後、放送大学から「成績通知書」が送付される。成績通知書に記載された成績は、下記のとおり本学の単位として認定される。単位認定された場合は、その成績評価によりGPAの数値が算出される。

区分	放送大学評価	聖学院大学評価
合 格	Ⓐ (100～90点)	S (100～90点)
	A (89～80点)	A (89～80点)
	B (79～70点)	B (79～70点)
	C (69～60点)	C (69～60点)
不合格	D (59～50点)	D (59以下)
	E (49～40点)	

(8) キャリア・デベロップメントについて

学生が、その就業観・社会人基礎力（ジェネリックスキル）・就職力を育成するプログラムに参加修了し、下記単位認定要件を満たすものと認めるとき、「キャリア・デベロップメント」（2単位）としての単位修得が可能である。

単位修得を希望するものは、事前にキャリア支援課にて、就業観・社会人基礎力（ジェネリックスキル）・就職力育成に資すると認められるプログラム（講義形式15コマ（単位時間）以上で、実習等を付加された内容）に申込み、参加・修了すること。修了後に、参加学生の参加報告書及びプログラム実施者（責任者）の修了認定・評価が提出され、単位が認定される。

なお、履修登録上限外として扱うこととする。